

ゲリラ的入植のすすめ

なか がわ けん さく
中 川 健 作

美紀ちゃんと結婚するゆびきりをした。結婚については常に僕の最大の課題と言われてきた。僕自身たいして気にしてなかったがまわりの人はかなり心配していた。たぶんまだ心配でたまらないに違いない。なぜなら美紀ちゃんがドイツに実習にいくため、ほぼ2年後・30か31歳になってから結婚するという予定だからである。まあ決して早いとはいえないがこれまではそんな余裕などちっともなかったのだ。

子供の頃からおやじの家庭菜園にいつもついていっていた。そのうち中学生で漠然と農家をやろうと思った。高校2年の夏、北海道紋別町の酪農家で初めて酪農体験させてもらった。その後帯広畜産大に入学しサークル「開拓同志会」（畜大農場で牛舎作業手伝いを主とした活動をしている）でひととおり牛舎作業を身につけた。畜大のまわりには酪農家がたくさんあり、各休みに酪農実習をしたりふだん学校に通いながら朝晩の搾乳バイトをしたりした。そうこうしているうちに農家になるという夢から酪農家になる、さらに放牧酪農へと具体的に夢を描くようになった。

学生時代は同志会の他に、世の中の様々な矛盾をどうにかしようと考えたりして廃品回収をして環境問題のミニコミを発行したり、休学してフィリピンのNGOの植林活動に参加したりした。自分の人生を考えたときジャーナリストとかNGOなどの職業も魅力的であったが、ジャーナリストは世の中の矛盾を告発する力は強いが問題解決の実行者ではないこと、NGOで国際協力もしたかったがまだ学生で机上で勉強したのみでは人を指導できるわけでもなく、じじい（50歳過ぎ）になって牛飼いのプロになってからやるべきだと思った。だから今の僕の牛飼いはN

GOに参加する修行ともいえる。

フィリピンから帰ってきてぶらぶらしているとたなぼた風に入植する機会がやってきた。まだ大学4年の夏だった。その頃酪農を取りまく事情について何も知らなかったが、やめた人の名前で出荷した（当時は離農者の牛乳生産枠を他人が引き継ぐことが許されなかった）。売れ残りの牛11頭と牛舎を借り購入飼料のみで牛乳をしぼる加工業型酪農であった。自給率の低下、食料問題につながる穀類多給、糞尿問題、牛を運動させない矛盾だらけの酪農。思い描いていた放牧酪農とほど遠いスタートだった。2年4カ月で現在のところに引越し念願の放牧酪農になった。

引越してから様々の問題を抱えている。この牛舎の堆肥場は川沿いにあり谷底で周囲に降った雨は集まって糞尿を溶かして川に流れていく。僕は環境破壊者になっているのである。夏は昼夜放牧のためほとんどの糞尿は草地で肥料になるからよいが夏場の一部分と冬の糞尿は問題である。そこで今年からスラリータンクというカラグーン（ため池）を作って汚水をためて尿撒き機で草地に散布することにした。金がないので堆肥でダムを作ったのだが密閉が悪くどうしても漏れてしまうのでビニールシートを敷くことにした（今作っている最中。ただなので国の95%の補助の事業より安い）。

昨年チョッパーという一昔前の牧草収穫機をもらったので今年から真剣に牧草を収穫するようにもなった。来年使える土地が5町増えるので牧草の自給率もかなり上がる。初め11頭を借りて始まったちいさな酪農家も5年たち、親30頭・育成20頭程度・牧草地12町（うち7町借地）、環境問題もようやく片付きつつある。

以上だけを見るとうまくやっているように見えるが、この5年間財布の中身は常に火の車である。普通の新規入植者といえば、公社のリース事業にのって土地・設備・機械・牛

すべて整えてほしい 5000 万円以上の借金を抱えることになるが、一通りの収益をあげていける計算になる。その場合今ならうまくやれば担い手育成センターの資金 300 万円（もらえる）＋ 570 万円（無利子で借りられる）とか、公庫のフロンティアとかいう 1% の資金とか、帯広市の農林振興資金（500 万円無利子・無担保）が使える。

が、僕が営農を始めた時点では担い手育成センターの資金もなかったし、うちの農協は新規入植者を受け入れるつもりが全くないのでフロンティア資金も使えるかどうか、帯広市が新規入植者（＝金がない）用に無利子無担保にした 500 万円の資金に対しても担保を要求してくるありさま。まあベンチャー企業に投資をしない日本人の体質そのものであるが。もし帯広市のほかの 2 農協も同じ態度なら市の資金は見せ掛けだけということになる。他農協ではフロンティア資金をどんどん使っているのにここの農協にいるばかりに何も資金が使えないなんてことになればひどい話である。（うちの農協だけ日本の農政からはずされている気分になる。）

実際僕は資金をどうしているのかといえは、親の貯金を農協に積んで貰いそれを担保に資金調達している。借金は大学卒業時に 210 万円（親・親戚）、引っ越し時に 500 万円（貯金担保、トラクター 130 万円・住居 160 万円・施設 80 万円・牛 130 万円）、今年土地・牛舎購入 940 万円、合計 1650 万円である。来年も土地を買うので借金総額は 3500 万円以下になるが、異常にバイタリティあふれるゲリラ的入植者としてはこれ以上の借金はできないと思っている。そして一般入植者より成功すべきだと思っている。

このように僕の経営は常に問題だらけで、まさに新規入植などということは今の世の中のいばらの道といえる。環境問題から始まって結婚問題までを解決しつつあるが、これから迎える自由化・まだまだある環境問題・食料問題その他の問題もこのように痛快に解決していき、更に木を植えた男のようにかっこいいじいになって森を残すのが僕の夢である。

（北海道帯広市・農業）